貧酸素水塊速報（2022年）

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター　千葉県農林水産技術会議
神奈川県水産技術センター　内湾底びき網研究会連合会
【協力】○ 千葉県環境研究センター　東京都環境局
第三管区海上保安本部　（国）国立環境研究所
○ モニタリングポスト（海上保安庁，国土交通省 関東地方整備局）
（今回の速報は"○"の機関の観測データを使用して作成しました）

令和4年5月31日観測結果

貧酸素水塊は川崎沖から千葉沖にかけてに広く分布していました(図1)。本日の調査で一部欠測があったため、縦断ラインは表示しません。先週に引き続き赤潮が広範囲で発生していました。貧酸素水塊はさらに拡大する可能性がありますので注意してください。

表層18～22℃、底層15℃～22℃でした。

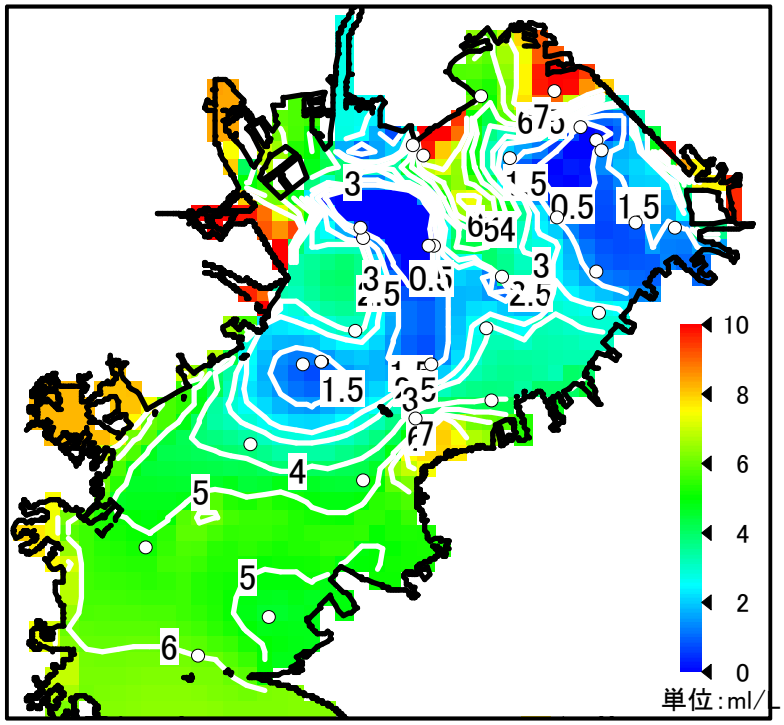

図1　底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量（DO）の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	